

かたの



R5. 5.26
形埜小学校
校長室だより

「最後の最後まであきらめない」「練習は本番通り、本番は練習通り」を合言葉に頑張ってきました。明日は、いよいよ本番です。ドキドキかな？ワクワクかな？

ここで、自分が笑顔になることはもちろん、家族の笑顔をGETするために大切なことを確認しておきますね。

～次の「◆◆の場合、その後、あなたは どうしますか？」ちょっと考えてみてください。

◆例えば、徒競走～お客さんがいっぱい緊張してスタートで出遅れるかも…、途中で転んでしまうかも…、一番後ろになってしまうかも…。～どうする？

◆6年生のリードでがんばったリレー、力がいりすぎて、バトンを落としてしまうかも…。後ろを走っていた子に抜かれてしまうかも…。～どうする？

～「本番は練習通り！」とは言うものの、練習ではなかった予測できないことが起きてしまうかもしれません。

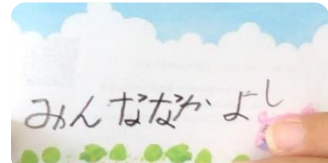
そんな時は、「負けるもんか！」です。

そんな時こそ、気持ちを切り替え挑めば、きっと楽しい&終了後の気持ちは大きく違うはずですよ。

1番になることも、もちろんかっこいいけど、何よりもかっこいいのは「あきらめないこと」だと、みんなの先輩達がいろいろな場面で示してくれました。そして、みんなのこれまでの運動会練習でも、あきらめないかっこいい姿をたくさん見つけましたよ！



パレーンに思いをのせて…



明日、青空が広がりますように

今年も、地域の方が作って下さいましたよ！

この「杉(すぎ)のお山」にはこんな意味があるのです。↓

杉(すぎ)の語源は、成長が早く長寿の大木であることから、「スクスクと生える木」です。子供の成長を願うという意味がまずあります。それから杉は神聖な樹木とされ、高くそびえるので、そこに神が降りてくるという思想もありますので神社にもよく植えます。それに杉の葉や板などからは、優れた香りがあり、邪気を消すともいわれました。ですから杉の葉を酒蔵に飾って酒を邪物から防いだともいいます。学校などに「杉門」を設置する例がありますが、これは、杉のもつ意味や歴史や習俗などにより、子供達が安全で元気にすくすく育ち、また邪気を避けるという意味があるのです。(インターネットより)

